



## 平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月27日

上場会社名 山崎製パン株式会社  
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3864-3110

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	257,953	3.0	9,178	57.7	9,150	53.2	3,739	—
27年12月期第1四半期	250,426	4.3	5,819	39.7	5,974	36.2	301	△58.9

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 1,213百万円 (△79.0%) 27年12月期第1四半期 5,777百万円 (545.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	17.04	—
27年12月期第1四半期	1.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	677,602	293,210	39.8
27年12月期	700,997	295,614	38.8

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 269,593百万円 27年12月期 272,283百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	16.00	16.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	521,000	2.4	14,800	14.7	15,400	13.5	6,100	52.8	27.80
通期	1,051,000	2.3	30,000	11.1	31,000	9.5	14,000	26.2	63.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	220,282,860 株	27年12月期	220,282,860 株
28年12月期1Q	837,644 株	27年12月期	832,947 株
28年12月期1Q	219,447,402 株	27年12月期1Q	219,468,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年3月31日）におけるわが国経済は、中国経済の減速の影響や期初からの円高進行もあり景気は足踏み状態が続き、個人消費は伸び悩みました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下で販売競争が激化する厳しい経営環境となりました。

このような情勢下にありまして、当社グループは、品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の拡販につとめるとともに、高品質・高付加価値戦略を推進する一方で、品質を向上させた値頃感のある製品を発売するなど、営業・生産が一体となった部門別製品戦略・営業戦略を推進してまいりました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、当社グループの総力を挙げて「ヤマザキベストセレクション」を中心にパン、和洋菓子、米飯、サンドイッチ、調理麺の品質向上と新製品開発に取り組むとともに、デイリーヤマザキのリージョンと当社の各工場が一体となって店舗運営の改善や店舗改装、店舗開発につとめました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,579億53百万円（対前年同期比103.0%）、営業利益は91億78百万円（対前年同期比157.7%）、経常利益は91億50百万円（対前年同期比153.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億39百万円（対前年同期比1,239.9%）となりました。

セグメント別の状況

## &lt;食品事業&gt;

食品事業の主要製品別の売上状況は、次のとおりであります。

## ①食パン部門（売上高233億34百万円、対前年同期比103.1%）

食パンは、「ロイヤルブレッド」、「超芳醇」、「ダブルソフト」の3大ブランドを中心に、品質・おいしさを訴求を強化し取扱拡大をはかるとともに、「ヤマザキゴールドシリーズ」に新製品の「レーズンゴールド」を投入するなど新たな需要の創造につとめましたところ、販売単価が更に上昇し、好調な売上となりました。

## ②菓子パン部門（売上高912億12百万円、対前年同期比102.5%）

菓子パンは、「厳選100品」をはじめとする主力製品の拡販につとめ、品質を改善した製品を中心に売上が伸長しました。また、2月に発売した「北海道産小麦のバターロール」の寄与もあり食卓ロールが伸長するなど、売上増となりました。

## ③和菓子部門（売上高181億66百万円、対前年同期比104.2%）

和菓子は、串団子や大福が堅調に推移し、「山崎謹製」シリーズが伸長するとともに、チルド和菓子の新製品「生どら焼」の寄与もあり、好調な売上となりました。

## ④洋菓子部門（売上高343億26百万円、対前年同期比100.1%）

洋菓子は、「プチシュークリーム」や「プチエクレア」の寄与により「プレミアムスイーツ」シリーズが伸長し、前年同期の売上を確保することができました。

## ⑤調理パン・米飯類部門（売上高339億67百万円、対前年同期比107.8%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおけるコンビニエンスストアチェーンとの取引拡大により、大幅な売上増となりました。

## ⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高400億88百万円、対前年同期比105.2%）

製菓・米菓・その他商品類は、ヤマザキ・ナビスコ(株)の「チップスター」、「エアリアル」などのスナックが大きく伸長するとともに、(株)不二家の「ミルクィー」、「カントリーマアム」などの菓子事業が伸長し、好調な売上となりました。

以上の結果、食品事業の売上高は2,410億95百万円（対前年同期比103.5%）、営業利益は94億69百万円（対前年同期比149.3%）となりました。

#### <流通事業>

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、営業総収入は144億81百万円(対前年同期比95.4%)、営業損失は8億35百万円(前年同期は10億2百万円の営業損失)となりました。直営店の減少により営業総収入は減少しましたものの、既存店売上が前年同期を上回り、収益面では回復傾向となりました。

#### <その他事業>

その他事業につきましては、売上高は23億76百万円(対前年同期比104.1%)、営業利益は3億92百万円(対前年同期比128.2%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は6,776億2百万円で、前連結会計年度末に対して233億94百万円減少しました。流動資産は2,430億70百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して145億98百万円減少しました。固定資産は4,345億32百万円で、投資有価証券の減少等もあり、前連結会計年度末に対して87億95百万円減少しました。負債合計は3,843億91百万円で、前連結会計年度末に対して支払手形及び買掛金の減少や借入金の減少等もあり209億90百万円減少しました。純資産は2,932億10百万円で、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に対し24億4百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は39.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、緩やかに持ち直すことが期待されますが、個人消費の回復には時間を要するものと思われま

す。当業界にありましては、お客様の節約志向が根強い市場環境の下で販売競争が激化する厳しい経営環境が続くことが予測されます。

このような状況下にあります、当社グループは、引き続き品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の取扱拡大をはかるとともに、高品質・高付加価値戦略を推進する一方で、製品規格を充実させ値頃感のある製品提供につとめるなど、営業・生産が一体となった部門別製品戦略・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、着実な売上拡大をめざしてまいります。さらに、当社グループ一丸となって内部管理体制の充実と業務の効率化をはかり、新しい価値と新しい需要を創造し、所期の目標達成をめざして努力してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

## ① 会計基準等の名称及び会計方針の変更の内容

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

なお、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。

加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## ② 経過措置に従った会計処理の概要等

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

## ③ 会計方針の変更による影響額

当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## (4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等が変更されることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成29年1月1日以降解消されるものに限る）に使用する法定実効税率は、前連結会計年度の32.1%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成29年1月1日から平成30年12月31日までのものは30.8%、平成31年1月1日以降のものについては30.5%にそれぞれ変更されております。

この結果、繰延税金資産の純額が993百万円減少し、当連結会計年度に計上された法人税等が1,187百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	113,173	118,347
受取手形及び売掛金	107,054	89,514
商品及び製品	10,868	10,839
仕掛品	646	758
原材料及び貯蔵品	9,702	8,883
繰延税金資産	3,845	3,377
その他	12,965	11,828
貸倒引当金	△587	△479
流動資産合計	257,669	243,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	347,944	349,348
減価償却累計額	△263,508	△264,948
建物及び構築物(純額)	84,435	84,400
機械装置及び運搬具	457,401	459,059
減価償却累計額	△384,352	△387,294
機械装置及び運搬具(純額)	73,049	71,764
工具、器具及び備品	27,638	27,878
減価償却累計額	△23,541	△23,668
工具、器具及び備品(純額)	4,096	4,210
土地	115,671	115,671
リース資産	23,298	22,602
減価償却累計額	△14,264	△14,125
リース資産(純額)	9,033	8,476
建設仮勘定	9,982	9,965
有形固定資産合計	296,269	294,489
無形固定資産		
のれん	13,707	13,390
その他	10,535	9,798
無形固定資産合計	24,243	23,188
投資その他の資産		
投資有価証券	70,658	64,617
長期貸付金	445	423
退職給付に係る資産	485	488
繰延税金資産	21,113	21,780
その他	32,831	32,415
貸倒引当金	△2,719	△2,871
投資その他の資産合計	122,815	116,854
固定資産合計	443,328	434,532
資産合計	700,997	677,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,903	73,929
短期借入金	61,424	61,029
リース債務	3,707	3,502
1年内償還予定の社債	1,371	1,109
未払法人税等	7,874	4,244
未払費用	38,291	34,811
賞与引当金	4,902	13,309
販売促進引当金	987	1,045
店舗閉鎖損失引当金	1	1
資産除去債務	92	75
その他	42,449	31,551
流動負債合計	240,005	224,608
固定負債		
社債	900	580
長期借入金	39,172	34,642
リース債務	5,768	5,287
役員退職慰労引当金	3,617	3,686
環境対策引当金	144	144
退職給付に係る負債	102,102	102,221
資産除去債務	4,190	4,256
その他	9,480	8,964
固定負債合計	165,376	159,782
負債合計	405,382	384,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	240,481	240,710
自己株式	△870	△882
株主資本合計	260,302	260,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,767	24,539
繰延ヘッジ損益	△7	△16
土地再評価差額金	81	81
為替換算調整勘定	63	175
退職給付に係る調整累計額	△15,923	△15,704
その他の包括利益累計額合計	11,981	9,074
非支配株主持分	23,331	23,617
純資産合計	295,614	293,210
負債純資産合計	700,997	677,602



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	250,426	257,953
売上原価	159,810	162,410
売上総利益	90,616	95,543
販売費及び一般管理費	84,797	86,365
営業利益	5,819	9,178
営業外収益		
受取利息	31	31
受取配当金	71	89
固定資産賃貸料	140	151
持分法による投資利益	45	43
雑収入	314	279
営業外収益合計	602	594
営業外費用		
支払利息	349	282
為替差損	17	222
雑損失	80	117
営業外費用合計	447	622
経常利益	5,974	9,150
特別利益		
固定資産売却益	8	12
投資有価証券売却益	—	443
補助金収入	—	136
特別利益合計	8	592
特別損失		
固定資産除売却損	235	358
その他	110	253
特別損失合計	346	612
税金等調整前四半期純利益	5,637	9,130
法人税等	4,970	4,862
四半期純利益	666	4,268
非支配株主に帰属する四半期純利益	364	528
親会社株主に帰属する四半期純利益	301	3,739

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	666	4,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,051	△3,254
繰延ヘッジ損益	△7	△7
為替換算調整勘定	360	△33
退職給付に係る調整額	△297	247
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△5
その他の包括利益合計	5,111	△3,054
四半期包括利益	5,777	1,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,351	832
非支配株主に係る四半期包括利益	426	381

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	232,960	15,182	2,283	250,426	—	250,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,102	1,748	6,978	9,829	△ 9,829	—
計	234,063	16,930	9,262	260,255	△ 9,829	250,426
セグメント利益又は損失(△)	6,343	△ 1,002	306	5,646	172	5,819

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額172百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	241,095	14,481	2,376	257,953	—	257,953
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,561	1,718	7,957	11,237	△11,237	—
計	242,656	16,200	10,334	269,191	△11,237	257,953
セグメント利益又は損失(△)	9,469	△ 835	392	9,025	152	9,178

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額152百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## (1) 連結販売実績

(単位：百万円)

セグメント名称	区 分	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	22,628	9.0%	23,334	9.1%	705	103.1%
	菓 子 パ ン	88,989	35.5	91,212	35.4	2,222	102.5
	和 菓 子	17,429	7.0	18,166	7.0	736	104.2
	洋 菓 子	34,285	13.7	34,326	13.3	40	100.1
	調理パン・米飯類	31,505	12.6	33,967	13.2	2,462	107.8
	製菓・米菓・その他商品類	38,122	15.2	40,088	15.5	1,966	105.2
	食 品 事 業 計	232,960	93.0	241,095	93.5	8,134	103.5
	流 通 事 業	15,182	6.1	14,481	5.6	△ 700	95.4
	そ の 他 事 業	2,283	0.9	2,376	0.9	92	104.1
	合 計	250,426	100.0	257,953	100.0	7,527	103.0

## (2) 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
(株)不二家(連結)	26,352	26,656	304	1.2%	305	839	533	174.5%
(株)サンデリカ	23,780	25,366	1,585	6.7	203	480	277	136.4
ヤマザキ・ナビスコ(株)	9,054	10,141	1,087	12.0	841	982	141	16.8
(株)ヴィ・ド・フランス	8,271	8,590	318	3.9	326	357	30	9.3
(株)東ハト	6,089	5,668	△ 420	△ 6.9	218	135	△ 83	△ 38.1

## (3) 平成28年12月期第1四半期の単体業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

## ① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	182,768	3.2	5,924	62.9	6,482	44.5	3,152	524.1
27年12月期第1四半期	177,031	4.1	3,637	55.0	4,484	32.9	505	△63.8

## ② 単体財政状態

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
28年12月期第1四半期	509,502		262,427	
27年12月期	524,026		265,933	

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品 種 別	前第1四半期 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)		当第1四半期 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	22,500	12.7%	23,299	12.8%	798	103.5%
菓子パン	81,133	45.8	83,004	45.4	1,870	102.3
和菓子	17,409	9.8	18,235	10.0	826	104.7
洋菓子	23,693	13.4	23,971	13.1	277	101.2
調理パン・米飯類	8,274	4.7	10,484	5.7	2,209	126.7
製菓・米菓・その他商品類	8,756	5.0	10,193	5.6	1,437	116.4
小計	161,769	91.4	169,189	92.6	7,420	104.6
デイリーヤマザキ事業	16,930	9.5	16,200	8.8	△730	95.7
内部消去	△1,667	△0.9	△2,621	△1.4	△954	—
合計	177,031	100.0	182,768	100.0	5,736	103.2

## (5) 単体営業利益増減の内訳

(単位: 百万円)

	平成27年 第1四半期		平成28年 第1四半期		増減額	増減率 (%)
	金額	%	金額	%		
営業利益						
山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く)	4,640	2.9	6,760	4.0	2,120	45.7
デイリーヤマザキ事業	△1,002	△5.9	△835	△5.2	166	—
合計	3,637	2.1	5,924	3.2	2,286	62.9

## &lt;山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) 増減内訳&gt;

(単位: 百万円)

	平成27年 第1四半期		平成28年 第1四半期		増減額	増減率 (%)	営業利益増減要因
	金額	%	金額	%			
売上総利益	52,148	32.2	55,553	32.8	3,405	6.5	売上高の増加 35億円 原材料費の減少 8億円 労務費の増加 ▲2億円 経費の減少 5億円 償却費の減少 1億円 仕入品の増加等 ▲13億円
販売費及び一般管理費	47,508	29.4	48,793	28.8	1,284	2.7	人件費の増加 ▲3億円 経費の増加 ▲9億円

(注) 「営業利益増減要因」欄で▲は営業利益のマイナス影響を表しています。

「%」欄は山崎製パン (デイリーヤマザキ事業を除く) の売上高に対する比率を記載しています。